

情報通信審議会 情報通信技術分科会 放送システム委員会  
4K・8K用FPU作業班（第3回） 議事概要（案）

1 日 時

平成28年10月13日（木） 10時30分～11時30分

2 場 所

総務省 11階 共用1101会議室

3 議 題

- (1) 前回会合の議事概要について
- (2) 技術的条件について
- (3) 共用検討について
- (4) 電波防護指針への適合性について
- (5) その他

4 出席者（順不同、敬称略）

【構成員】 甲藤主任（早稲田大学）、大西主任代理（一般社団法人 電波産業会）、相川（電気事業連合会）、池田（スカパー J S A T株式会社）、井上（株式会社テレビ朝日）、狩野（東日本高速道路株式会社）、斉藤（株式会社テレビ東京）、佐藤（日本テレビ放送網株式会社）、高田（一般社団法人 日本民間放送連盟）、武居（株式会社日立国際電気）、中村（日本放送協会）、長谷地（日本電気株式会社）、濱住（日本放送協会）、平沢（池上通信機株式会社）、深澤（株式会社TBSテレビ）、森本（株式会社フジテレビジョン）、八木（株式会社NTTドコモ）

【オブザーバー】 山崎（警察庁）、藤沼（防衛省）

【事務局】 久恒、大塚、宇野（情報流通行政局放送技術課）

5 配付資料

- 資料FPU作3-1 4K・8K用FPU作業班（第2回） 議事概要（案）
- 資料FPU作3-2 超高精細度テレビジョン放送のためのマイクロ波帯を使用する放送事業用無線局（FPU）の技術的条件（案）
- 資料FPU作3-3 4K・8K-FPUと既存無線システムの共用検討結果中間報告
- 資料FPU作3-4 4K・8K-FPUと既存無線システムの共用検討結果中間報告（概要版）

## 資料FPU作3-5 電波防護指針への適合性について

### 6 議事概要

議事次第に沿って検討が行われた。議事概要は以下のとおり。

#### (1) 前回会合の議事概要について

資料FPU作3-1の前回議事概要(案)が承認された。

#### (2) 技術的条件について

事務局より資料FPU作3-2に基づき超高精細度テレビジョン放送のためのマイクロ波帯を使用する放送事業用無線局(FPU)の技術的条件(案)について説明がされた。

主に以下のとおりの質疑が行われた。

- 資料FPU作3-2のP1(4)キャリア変調方式の数字について、1024QAM、4096QAMという小さい値から大きい値の順に記載されるものと、256QAM、64QAMという大きな値から小さな値の順に記載されるものが混在しているが、何か意図があるのか。(甲藤主任)
- 技術基準に規定する際、最大値規定となるが、小さい値も認めることを明確にするため、ただし書き以降に記載している。(事務局)

#### (3) 共用検討について

大西構成員より資料FPU作3-3及び資料FPU作3-4に基づき、4K・8K-FPUと既存無線システムの共用検討結果中間報告について説明がなされた。

主に以下のとおりの質疑が行われた。

- 2点教えていただきたいが、1点目は固定衛星業務との共用で、被干渉側を現行FPUとした場合、所要離隔距離はどのくらいなのか。2点目は固定衛星業務について、今回、横浜の既存の地球局に関する検討が行われたが、今後、別の地球局を設置する場合、今回と同じ条件で申請する必要があるのか。(池田構成員)
- 1点目については、別途回答させていただく。(大西構成員)
- 2点目については、固定衛星側の技術基準が変更となるわけではないので、現行の技術基準に基づき申請が可能。(事務局)
- 資料FPU作3-4の最後に共用検討結果概要とあるが、これを資料FPU作3-3の最後にも追加してはどうか。(深澤構成員)

- 順番は変わっているが、資料FPU作3-3の2. 検討結果（要旨）に同様の記載をしている。（大西構成員）
- 電気通信業務の中で、災害時等に一時的に設置される無線局があるが、共用検討は問題ないのか。（甲藤主任）
- 今回の検討結果から、空中線が正対しなければ基本的には共用できるという結果になっており、運用においてそのようなケースはほとんどないと思われるので問題ない。（大西構成員）

#### （4）技術的条件について

事務局より資料FPU作3-5に基づき電波防護指針への適合性について説明がされた。

- 今回の資料を使うことで、安全だということ説明しているのだと思うが、例えばこの数字だけ見て危険だと感じる人が世の中にいたとしても、この資料を使うことで十分に説明可能だと考えてよろしいか。（甲藤主任）
- 今回の離隔距離の計算というのは一定の条件下でこのような結果となっており、かつ最大輻射方向から逸れれば値が緩和される。運用の状況が0度となる最大輻射方向の中人が入るといった状況になっていないため、この状況から安全性を確認できると考えている。（事務局）

#### （5）その他について

事務局より、最近の動向について説明があった。また、次回の作業班の開催は11月末を予定しており、日程調整の上、後日改めて連絡する旨連絡があった。